

文化のチカラ

SASEBO



席いかが?

特集

落語の噺

はなし



今、落語が熱い!

落語のトリセツ
佐世保かっちえて落語会
佐世保の寄席

落語のことを学んだら、寄席に足を運んでみよう!
佐世保で定期的に見られる寄席をご紹介します。

江戸落語の本格派一朝と現代感覚の一之輔による希少な師弟共演!

第16回 佐世保かっちえて落語会 年2回 春風亭一朝・一之輔 親子会

日時 2018年4月1日(日)
16:00~(開場15:30)

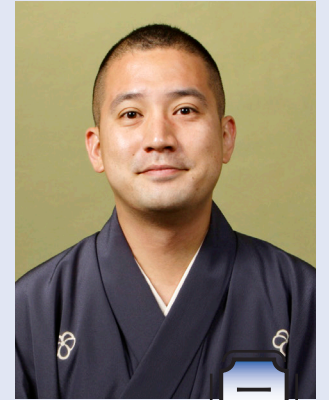
場所 コミュニティーセンターホール

料金 ●大人: 指定席 2,500円
自由席 2,000円
●小中高: 全席 1,000円

お問い合わせ 佐世保かっちえて落語会 実行委員会事務局
TEL.0956-32-0888



一朝



一之輔

第12回 のうしょうよせ 能生寄席 年1回 柳家甚語楼 独演会

日時 2018年11月25日(日)
14:00~

場所 アルカスSASEBOイベントホール

料金 無料

※入場方法は、9月頃市内各フリーペーパー等でお知らせします

お問い合わせ 能生寄席の会/善隣寺
TEL.0956-33-3334



「脇から手をつっ込んで無理矢理笑わせる」
ような流行りのお笑いとはひと味違う「落語」
が好きです。ある人が一所懸命になっている
姿も、視点を変えればおかしみを含んでいる
ように、普段は流れてしまいがちな、日常の中
にある豊かなメッセージにはっと気づかせて
くれます。ひよんなきっかけではじめた落語会
も、今年でもう12回目。落語の歴史を紐解け
ば、お寺とも深い繋がりがあったり、毎年来て
くれる甚語楼師匠も佐世保が大好きに。たく
さんのご縁が繋いでくれ
た落語会、一度参加し
てみませんか?



善隣寺住職
辻本 光信 さん

イベントカレンダーは佐世保市ホームページもしくは [facebookページ「文化のチカラ」](#) をご覧ください。

落語の
道具など

【手ぬぐい】

単純な手ぬぐいとしてのみならず、財布や手紙に見立てるための小道具で、噺家（落語家）が、それぞれ持つオリジナルの手ぬぐいも見どころのひとつ。



【扇子】

高座扇子と呼ばれ、一般的な扇子より大振り、キセルや箸、釣竿、筆、刀など様々なモノに変身する小道具。

【メクリ】

演者の名前が書いてある紙。



【出囃子】でばやし

噺家が高座に上がる際にかかる音楽。自身の雰囲気や芸風に合わせて決まっており、出囃子が持てるのは二つ目以上とされる。

【前座】

弟子入り後、高座にあがるのが許された者。寄席で一番前に高座に座るの「前座」と呼ばれ、高座返し等の仕事も受け持つ。

【二つ目】

紋付、袴、羽織をまとうことが許され、出囃子を持つことができる。雑用がなくなる代わりに、高座を自ら探すなど一人前として振る舞うことが求められる。

【真打ち】

寄席のトリ（最後の演者）を務めること、弟子を取ることが許される。二つ目から10年程度かかることが一般的。

【落語】噺・はなし

着物を来た噺家が座布団の上で、複数の登場人物を演じ分けながら、会話劇を展開する芸のこと。

そぎ落とされた要素で繰り広げられる芸は、演者の技術と聞き手の想像力で完成するとも言われています。落ち（サゲ・結末）があることが名前の由来。いわゆる「古典落語」と呼ばれる演目は、江戸から明治時代にかけて完成しました。現在も「新作落語」が生まれ続けており、昔から、目新しい物語という意味で「新」という漢字が使われています。

育まれた地域によって、陽気な「上方落語（大阪）」、粋で情感のある「江戸落語」という分類もあり、そこに、近年「佐世保落語」が割って入ろうとしているとか…。

落語のトリセツ

のにしている原因のひとつがさえるだけで、グッと落語では、楽しく基礎を学び、深く準備運動をしましょう。

落語をちょっと近寄り難いも専門用語。でも、ポイントを押身近で楽しめるものに。ここで広い落語の海に飛び込む



今回の特集は「落語」。みなさんは、どんなイメージを持たれていますか？
「難しそう」「敷居が高そう」「…東京や大阪のもの」「…ところが、知れば知るほど味わい深くて、そして実は、佐世保に根付きつつあるのが落語なのです。そんなわけで今号では、佐世保の落語の世界に触れてみましょう。」

落語の
用語集

【寄席】よせ

落語や講談、漫才などの演芸を観客に見せる小屋のこと。その舞台のことを高座と呼びます。

【お辞儀】

お辞儀にはじまり、お辞儀に終わるのが落語。場面転換に使われることもあります。

【高座返し】

演者の入れ替わりの際、座布団をひっくり返し、メクリをかえすことをいい、前座の仕事とされています。

【サゲ】

落語の由来ともなった話の結末部分。単純に笑えるものだけでなく、駄洒落で終わる「地口落ち」、考えさせられる「考え落ち」などいくつかのパターンに分けられます。≪落ち

【親子】

師匠と弟子のこと。公私を越えた昔ながらの家族のような関係が残っており、一門の芸風などにも色濃く反映されているようです。

【マクラ】

本編に入る前の落語の導入部分。演者によって、また、その日のお客さんの様子を見ながらアドリブで変わることもあります。通になれば、マクラで本編が予想できたりするそう。

落語の
登場人物

落語には、複数の噺に登場する「定型のキャラクター」がいます。



威勢のいい江戸っ子
熊さん(熊五郎)



みんなが住む長屋の
大家さん



おっちょこちょいな
八つつあん
(八五郎)



ちょっとポケた
与太郎



物知りな
ご隠居



人がいい
甚兵衛さん



放蕩息子の
若旦那



子ども
定吉



大工の
棟梁



佐世保にプロの落語家が訪れ、地元の落語っ子たちと共演する全国にも類をみない試み「かつちえて落語会」は、今年で8年目を迎えます。オリジナルの台本と子どもたちの熱演、そして、それに触発されたプロの技が見どころ。ここでは、その発案者、海老原靖芳さんの台本解説を交えながら佐世保の落語の今を学びましょう。

「佐世保は変な町」

作・海老原靖芳



1 落語っ子は、前座用の出陣子に合わせて高座にあがります。今回のマクラは短め、お辞儀をして、いざ本題に臨みます！

1 えー落語には、ものしりの大家さんと、そういう大家さんを頼りにするひとが登場しますが、今回もそういうお断を一席。

2 「こんにちは！大家さんいますか？」

「おう、熊さんか、どうした？」

「大家さんさあ、大家さんはものしりですよね？」

「ああ、ものしりだよ」

「知らないことはないですよね？」

「ああ、なんでも知ってるよ」

3 「じゃ教えてほしいんですけど、この日本のずーっとずーっと西のほうに、佐世保っていう面白い町があるって聞いたんで一度行って

人生には、つらいこと、悲しいこと、様々なことが起こりますが、私は、「笑い」を通じた人と人との繋がりをずっと追いかけていきたいのです。人も自然も豊かな佐世保で、まるで親子のように、子どもたちと喜怒哀楽のやりとりをし、そこに唯一無二の佐世保らしい、本物の文化が育まれるといいな、と思っています。

海老原 靖芳 (えびはら やすよし)
1953年佐世保市生まれ。佐世保南高、青山学院大学経済学部卒。放送作家としてデビュー後、「ドリフ大爆笑」、「風雲たけし城」、「志村けんのだいじょうぶだぁ」 「吉本新喜劇」など数多くの人気番組を手掛ける。2010年「かつちえて落語会」立ち上げを機に佐世保へ帰郷。創作落語の台本・指導を担当する。



3 脚本はもちろん、舞台は佐世保にこだわって作っています。



「みたいんですけど、大家さんは佐世保のことは知ってますか？」
「ああ知ってる知ってる。よく知ってるぞ。佐世保のことなら何でも聞いてくれ」

「そいつはありがてえや。じゃ聞きますけど、佐世保でいろいろ見てまわるには、バスを利用したほうが便利だって聞いたんですけど、ほんとですか？」

「ああ、そりゃほんとだ。佐世保を見てまわるには、バスを利用したほうが安くて便利だろうな」

4 「何て言うバスを利用したらいいんですか？」

「佐世保には、市バスと西肥バスというのがあってな。まあ、どっちでもいいだろう」

「わかりました。佐世保に行ったら市バスか西肥バスを利用します」
「ああそうだ！佐世保にはもうひとつバスがあるぞ」

5 「何て言うバスですか？」
「“うっとばす”」

「木でできたバスですか？」

「それは“ウッドバス”だろ。わしが言ったのは“うっとばす”。このバスはものすごく速くてな。フェラーリよりもボルシェよりも速くて、時速300キロでバス停を“うっとばして”走るから、気をつけたほうがいいぞ」

2 落語の定番キャラクター、物知りの大家さんとその長屋に住んでいるせっかちな熊五郎のやりとりが、この台本のベースになっています。



5 はい、ここ笑うところです！笑。今回の裏テーマは、佐世保弁ダジャレ。



弟子たちの

に	落	か
し	語	つ
た	会	ち
も	で	え
の	手	て



聞き手
ミクスケ
お客さんの前で演じる落語を通して、話すときには聞き手がいることに気づきました。そのことはいつも忘れないようにしています。



ファン
お咲ちゃん
一度お休みしたとき、「ファンです」と声をかけられる大事な仲間のおかげで人前でも物怖じしない度胸がつかました。



度胸
大家さん
初めて出会った面白い大人と、1対1で向き合ってくれる大事な仲間のおかげで人前でも物怖じしない度胸がつかました。

※落語っ子は、落語にちなんだニックネームで呼ばれています。

12 ダジャレでしめる「地口落ち」。この後、高座返しをして次の噺家にバトンタッチします。



12 「それはな、「させほ」も「させぼ」も、ほぼ同じ」

どっちなんですか？」

「わかりました。佐世保に行ったら「しかブリ」と「たいかブリ」には気をつけます。よし、一度佐世保に行ってみるかな。ああそうだ！ 大家さん、最後にひとつだけ教えてください。佐世保は、「させほ」って言ったほうがいいのか、「させぼ」がいいのか、どっちなんですか？」

死ぬぞ」

11 「たいかブリ」。このブリだけは、絶対に食べるんじゃないぞ。死ぬぞ」

ろよ」

「まあな、「しかブリ」はよく焼けば食べられるかもしれないけど、もうひとつ、佐世保には絶対に食べられないブリがあるから気づけろよ」

「でも、焼いて、よく火をとおせば食べられるんじゃないですか？」

10 「佐世保のブリは「しかブリ」と言ってな、黄色くて変なおいがするんだよ」

※台本は著作権者の許諾を得て掲載しています。転載や上演等にあたっては著作権法に基づき権利者の許諾が必要です。

みどころ

佐世保落語では、古典落語と同じように基本の噺をいくつか用意し、高座毎に、落語っ子の個性や成長に合わせて進化させていきます。落語会に来れば来るほどに、噺家によって印象が大きく変わる落語ならではの楽しみ方を感じていただけるはず！

落語っ子募集中!

時期 落語会(年2回)の3か月前から本番まで
日時 毎週日曜の10:00~12:00
場所 清水地区公民館(総合教育センター内)
参加費 無料
電話 0956-32-0888

佐世保かつちえて落語会実行委員会
<http://www.soup-up.jp/rakugo/rakugo.html>



春風亭昇太

あれだけの人数の前で、たったひとりでしゃべるってことを、あの年齢でやるってことは、とても貴重なことですよ。



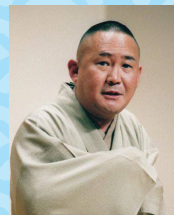
柳家三三

手作りの会、そこで楽しむお客様、なかなか日本中探しても見当たらない素敵な雰囲気です。



立川志の輔

いいですねえ、子供たち。これからも続けてください。あんなこと誰もできないですよ。続けてください。



林家正蔵

いいなあ、子供たち。うちの若い(弟子たち)にも見せたいなあ。



師匠たちの



9 江戸言葉でえ! 佐世保落語は粋でないせな江戸落語をベースに作っています。

「どうしてですか？」

「やめとけやめとけ! 佐世保のブリだけは食べるんじゃないぞ」

「そいつはいいや。おれは魚が、でえ好きなんですよ。とくにブリが、でえ好きで、でえ好きで、あればあるだけ食っちゃいますね」

「いいんだよ。この落語会は、わかる人だけがわかればいいんだから。まあまあ、それでな、佐世保の話の続きだけど... 佐世保は海がきれいな町だから、魚がうまいぞ」

「大家さん、何訳わからないこと言ってんですか？」

「おーい、山田君! 座ぶとん一枚やってくれ」

「いや、三ヶ町に咲いている「白ばら」が好きです。うまい!

「赤いバラが好きなんですか？」

「ああ、佐世保の人たちは、バラが好きなんだよ」

「え! 佐世保の人たちは、花屋さんで売ってるバラを食べるんですか？」

「そうじゃなくて、植物のバラだよ」

「牛ばらとか、豚ばらですか？」

「うまいな」

「うまいな」

「ああ、そうだな。佐世保では何を食べてもうまいけど、特に、バラがうまいな」

「わかりました。あと、佐世保は食べ物うまいって聞いたんですけど、ほんとですか？」

「ああ、そうだな。佐世保では何を食べてもうまいけど、特に、バラがうまいな」



8 佐世保の人の心をくすぐりながら、ちゃっかり次の笑いのフリ(伏線)を仕込みます。

6 落語と大喜利は...違います!が、敢えてネタに取り込みました。大喜利をきっかけに落語を知った若者も多いんじゃないでしょうか。



7 噺家とお客さんが一緒に作り上げるのが落語の醍醐味。あの手この手で共犯関係を作ります。

